

ウィーンナー ムジーク セミナー
ウィーン国立音楽大学
オンラインマスタークラスのご案内

Wiener Musikseminar



株式会社東京国際ツアーズ
後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<ご案内>

音楽の道を志す皆様にとって、海外の音楽大学やセミナーにおいて様々な教授の指導を受けることは大きな学びであると思います。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により今もなお海外渡航の困難な状況が続いています。そこで、皆様の学びの機会として Wiener Musikseminar のオンラインレッスンをご案内いたします。同セミナーは、オーストリア大統領の支援のもと来年 51 年目を迎える歴史あるセミナーであり、これまでも多くの音楽家の皆様が受講されています。将来の海外留学のご準備としても、ぜひお勧めいたします。

<開催にあたっての新型コロナウイルス対策>

セミナーの開催にあたり、以下の対策を実施いたします。

- ・レッスンとレッスンの合間にはレッスン室の換気を十分に行います
- ・レッスン中は受講者のみの入室とします。スタッフは接続設定後退室し、リモートにて対応いたします。
- ・宿泊利用の場合、滞在ホテルは新型コロナウイルス対策を実施しているホテルを利用いたします

<セミナー開催期間・対象楽器>

2021年2月9日(火)～2月18日(木)

ピアノ科： Alexander ROESSLER (アレキサンダー・ロスラー)

声楽科： Sona GHAZARIAN (ソーナ・ガツァリアン)

ヴァイオリン科： Edward ZIENKOWSKI (エドワード・ツィエンコフスキー)

Elisabeth KROPFITSCH (エリザベート・クロプフィッチ)

フルート科： Sonja KORAK (ソニヤ・コラク)

クラリネット科： Kurt SCHMID (クルト・シュミット)

サクソフォン科： Kurt SCHMID (クルト・シュミット)

※上記以外のレッスンも受け付けています。ご希望がありましたら東京国際ツアーズまでメールでお問合せください。

<セミナー内容>

- ・60分レッスン x 5回
 - ・事前オリエンテーション(オンライン受講に際し必要な設定の説明を含む)
 - ・シュミット教授によるオンラインミーティング(オーストリアの生活や文化、音楽について等) ※通訳有
- ※レッスンは原則として月～金曜日の16～21時に実施いたします。
- ※希望者には別途留学説明会(オンライン・有料)を実施いたします。詳細はお問い合わせください。

<講習会参加費> ※本セミナーは海外マスタークラス助成オーディションによる助成対象外となります

受講料 : ￥99,000 (5レッスン分)

通訳料(希望者のみ) : ￥27,500 (5レッスン分)

手配手数料 : ￥22,000

※通訳を希望しない方でも受講時に教授の判断で必要となる場合があります。

※宿泊を伴うご参加の場合、GOTO トラベルの適用も可能です。ご希望の方はご相談ください。

<講習会開催場所> ※レッスン日程によって異なります

・東京音楽学院 西日暮里駅前校 荒川区西日暮里 4-1-20 ACビル2階
JR 山手線・京浜東北線・メトロ千代田線 各「西日暮里駅」徒歩1分

・東京音楽学院 日暮里駅前校 荒川区西日暮里 2-19-4 たちばなビル9階
JR 山手線・京浜東北線・常磐線・京成線 各「日暮里駅」東口すぐ

※ご自宅でのリモートレッスンも可能です。ご希望の方はご相談ください。

<申込締切日>

2021年1月22日(金) 17:00 必着

<修了証>

コース修了後にディプロマ（受講者）またはコース参加証（聴講者）をお渡しいたします。

<申込方法>

お申込金（内金）として 30,000 円を以下の口座にお振り込みの上、申込書、振込明細書（お客様控え）のコピーと共に弊社まで郵送またはファックスにてお送りください。

【お申込金振込先口座】 東日本銀行 町屋支店 普通口座 0120569 (株)東京国際ツアーズ

<キャンセルについて>

お申し込み後のキャンセルにつきましては以下のとおり取消料を申し受けます。

～1/25（月）まで	手配手数料
1/26（火）～2/1（月）まで	受講料の 50%、手配手数料
2/2（火）～	受講料、通訳料、手配手数料

※手配手数料につきましては、キャンセル時期に関わらずお申し込み後のご返金ができかねます。

<その他>

- ・オンラインレッスンに必要な機材は当方でご用意いたします。ただし、ご自宅でのレッスンを希望の場合はご自身でご用意ください。また、受講方法等の詳細につきましては、レッスンスケジュールの確定後、個別にご案内させていただきます。
- ・東京国際芸術協会は、レッスンの受講手続きに必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。またレッスン運営に関する手続きを(株)東京国際ツアーズへ委託いたします。そのため、お申込後のご案内は(株)東京国際ツアーズよりご連絡差し上げます。ご不明な点等 がございましたら、(株)東京国際ツアーズまでお問合せください。

<お問合せ・お申込み先>

株式会社東京国際ツアーズ
観光庁長官登録旅行業 1353 号 日本旅行業協会正会員
〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301
TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556
master@ti-tours.com

ウィーンナー ムジークセミナー 担当教授

ピアノ教授：

Alexander ROESSLER アレクサンダー・ロスラー

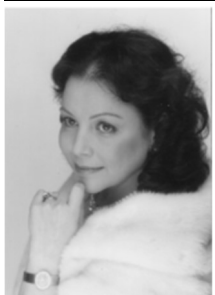


ウィーン国立音楽大学教授。シュトゥットガルト、ミュンヘンにて K. H. ディーラー、R. ケラーに師事。フィレンツェの M. ティポより奨学金を受ける。ウィーン、ペルージャにて S. ノイハウスのマスタークラス受講。1981 年首席にて卒業。バルセロナコンクール優勝。ポーランドではシマノフスキー受賞記念メダルを

授与された。1973 年以降、ソリストまたは著名なソリストの室内楽パートナーとしてヨーロッパや海外で多くのコンサートを行った。1990 年以降、ヨーロッパ、韓国、日本のマスタークラスを定期的に受け持つ。ピアノコンクール審査員。ラジオ出演や CD レコーディング（シューベルト、シューマン、ブラームス等）を行う。レパートリーはブラームスとベートーベンが中心となるが、ウィーンクラシック、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、スクリャーピン、シマノフスキー、プロコフィエフも得意としている。現代作品ではジャズ、ブルース、自由即興が挙げられる。

声楽教授：

Sona GHAZARIAN ソーナ・ガツアリアン



ベイルート大学心理学科卒業。最優秀の成績で声楽コースを修了する。国際的に名高いオペラハウス（ロンドン・コヴェントガーデン、パリ国立オペラハウス、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ニューヨーク・メトリポリタン歌劇場、カーネギーホール、ブエノスアイレス、日本、その他）で 70 以上のオペラに出演。カルロス・クライバー、コリン・デービス卿、H. B. カラヤン、ゲオルグ・ショルティ卿とリッカルド・ムーティ等著名な指揮者を共演、38 年間世界的なキャリアを積む。

国際マスタークラスで指導、声楽の技術とオペラ解釈、リート、オラトリオに焦点をあてる。たぐいまれな功績で多数の賞を受賞。名誉歌手、芸術と科学の第一級金メダル受賞者としてオーストリア共和国から栄誉を与えられた。

ヴァイオリン教授：

Edward ZIENKOWSKI エドワード・ツィエンコフスキー



ポーランドのルブリンに生まれ、ポーランドとドイツで学んだ。多数の国際コンクールで受賞。1981 年以降ソロとしてヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏活動を行い、有名なヴァイオリンコンサートでの演奏を収録した。彼のレパートリーは、バッハから現代の作曲家の作品まで幅広い。1979 年から 82 年までベルリンフィルハーモニー管弦楽団のメンバー

であり、1982 年から 92 年は WDR Köln のコンサートマスターを務めた。1985 年以降はバイロイト音楽祭にてオーケストラのコンサートマスターを務め、1992 年よりウィーン国立音楽大学で教授、またヴァイオリンコンサートクラス主任となる。

Elisabeth Kropfitsch エリザベート・クロプフィッチ



2011 年 10 月よりウィーン国立音楽大学教授に就任。ウォルフガング・シュナイダーハーンに師事。長年アイゼンシュタットのハイドン音楽院で教鞭をとる。国際的な演奏活動を行う一方 EMI・フンガロトンから CD をリリース。愛器は 1751 年製作のガダニーニ“d'Elia 1751”。

フルート教授：

Sonja KORAK ソニヤ・コラク



2001 年よりウィーン国立音楽大学にて教鞭をとる。2020 年、同大学フルート科教授に就任。ウィーン国立音楽大学演奏科主催のプロジェクトにて、ヨハン・セバスチャン・バッハ音楽学校（ウィーン）の有能な生徒達への指導を担当する。フルート奏者でもあり、カメラータザルツブルクオーケストラのメンバーとして活躍中。また、アンドラーシュ・シフ氏が指揮者を務めるカペラ・アンドラー・バルカとウィーン室内管弦楽団のフルート奏者も務める。Linz のブルックナーオーケストラ、Niederösterreich のトーンキュンストラオーケストラにて数年間におよぶ演奏経験を持つ。

クラリネット/サクソフォン教授：

Kurt SCHMID クルト・シュミット



ウィーン生まれ、R. イェッテルのもとウィーン大学で学ぶ。1963 年より NTO のクラリネットソリスト。1969 年より Viennese music にて勤める。1970 年より指導経験を積み、1974 年ウィーン音楽セミナー教授となる。1986 年以降、作曲に焦点をあて、1993 年、ウィーンクラリネットオーケストラの芸術監督、指揮者となる。またオーストリア、日本、韓国でもマスタークラスを受け持つ。1996 年よりウィーン音楽セミナーの芸術部門副代表。1999 年より交響楽団オラデアのディレクター、指揮者となる。2002 年よりルガンスク・フィルハーモニック・オーケストラ芸術監督、正指揮者。2003 年よりルガンスク音楽大学教授。2004 年 3 月から、ルガンスク音楽大学にて名誉博士となる。